



本 庄

ロータリークラブ会報

率先しよう

No.44-18 第2123回 例会 11月 9日 2006年 11月16日 発行

2006~07 年度 国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2570地区 ガバナー 鈴木勲二

会長 渋谷修身 会長エレクト 岡崎正六 副会長 下山正男 副会長 立石秀壽 幹事 佐藤賀則

《本日の例会》

ロータリー財団月間

世界インターアクト週間
(11月5日を含む1週間)

卓 話

「ロータリー財団の変更について」

国際ロータリー第2570地区

ロータリー財団部門委員長 梅澤將明 様

進 行	井河久昇 SAA
点 鐘	午後12時30分 渋谷修身 会長
ソング	「我等の生業」「四つのテスト」
来訪者	国際ロータリー第2570地区 ガバナーエレクト 石川嘉彦 様 国際ロータリー第2570地区 ロータリー財団部門委員長 (坂戸RC) 梅澤將明 様 青少年交換学生 ナターリアさん

〔会長の時間〕

渋谷修身 会長



皆様こんにちは。まずお客様の御紹介を致します。国際ロータリー第2570地区ガバナーエレクトの石川嘉彦様、地区ロータリー財団部門委員会長の梅澤將明様です。今月はロータリー財団月間ですので、卓話をして頂く為にいらっしゃって頂きました。有難う御座います。もう1人は交換学生のナターリアさんです。通常は第1例会に出席していますが先週が修学旅行のため今日きてもらいました。

さて、ロータリー財団は世界規模のものであ

りますので梅澤委員長のご苦勞は大変なものがあると想像がつかます。

財団では、その他に「地区補助金プログラム」というものがあります。当クラブでも今年早々に、ソーラー時計に関しまして補助金の申請を出しましたが、残念ながら却下されてしまいました。補助金を出す方に見れば、数多くのプロジェクトが申請されますので全部に出すわけにはゆきませんのでやむを得ない事なのですが、私としては単に時計を買ったというのではなく、偶然今年にありました本庄市と児玉町の合併を将来まで記念として残す為のシンボルとして考え、また1つのロータリークラブの出来事としてではなく姉妹クラブ4クラブが力を合わせ協力した結果の事業であり、更にまた大きくロータリーマークを付けてロータリーの広報活動の一助になればと思い、鈴木ガバナーもその贈呈式に参加して下さる事になり、それらをいろいろと考えますと絶対に補助金を頂けると信じて疑わなかったわけでありました。ですから、この結果には非常にガッカリ致しました。財団に対する協力の決意も萎んでしまいました。梅澤さん自身にその責任があるわけではないのですが、結果としてそういう事ですのでお互いに残念な結果になってしまったと思っております。今回、補助金は出ませんでしたけれど、こういう事がこういうふうに行われたという記録だけでも梅澤委員長に渡しておきたいと思いません。後程ご覧になって頂きたいと存じます。

〔幹事報告〕

佐藤賀則 幹事



- ・「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金事務局より募金お礼の葉書が届いています。
- ・岡部RCよりチャリティクラシックコンサート協賛のお礼状が届いています。

- ・本庄市書道人連盟会長様より(11/5当クラブは下山副会長が出席)物心両面にわたる協賛につきましてのお礼状が届いています。
- ・地区より「ダメ 飲酒運転」のリボンマグネット(車等に付けられるステッカー)が届いています。尚、購入を希望される方は幹事までお申し込み下さい。
- ・派遣学生の中村 茜さんより報告書が届いていますが、次週発表させていただきます。
- ・子育て応援団『本庄ぴすけっと』より「ぴすけっと通信」が届いています。

ご挨拶



石川嘉彦 ガバナーエレクト

ガバナーエレクトをおうせつかっております入間RC所属の石川嘉彦でございます。

今日は突然メーキャップにお邪魔させていただきました。同期の直前ガバナー補佐加藤玄静さんにお目にかかりたかったのと、

高橋福八バスターガバナーにお目にかかりたかったのとお邪魔させていただきました。

こちらのクラブにお邪魔すると44年の歴史がございますのでしょうか、大変伝統と歴史のあるクラブにお邪魔させて頂いて、ここに立たせて頂いても独特な雰囲気を感じております。本当に名門クラブらしい格調高いクラブだなあという事を今も感じさせて頂いております。

又、来年度の事になりますが皆様には大変お世話になる事と思っておりますが、どうかロータリーの好意と友情を持ってご支援ご協力を頂きたいと思っております。どうも有難う御座いました。

☆スピーチ

ナターリアさん



最初にロータリアンの皆様に感謝とお礼を申し上げます。通学の自転車や修学旅行の費用など出して頂き有難う御座いました。私は日本に留学できてとても良かったと思います。日本は

私が思っていたより綺麗で素晴らしい国です。また、たくさんの日本の方々にお会いでき、親切にして頂き嬉しく思います。

修学旅行はとても良かったです。とても楽しかったし、美しい場所やたくさんのお寺、日本の文化についてもたくさん学びました。私達は神戸、大阪、京都へ行きました。2日間旅館に泊まり日本の伝統料理を食べ、布団で寝たので私も日本人になったような気分でした。皆さんとても私に良くしてくれて、たくさん友達もできました。旅行は本当に素晴らしかったです。京都は綺麗で楽しくて大好きになりました。皆さんへ感謝の気持ちを込めてお土産を買いました。どうもありがとうございました。

紹介 野澤章夫 ロータリー財団委員長



11月はロータリー財団月間です。本年度も国際ロータリー第2570地区ロータリー財団部門委員長の梅澤将明様に卓話をお願い致しました。本日は「ロータリー財団の変更について」お話し頂きます。この機会に財団

への理解を一層深め、その重要性を認識頂ければと思います。

尚、「財団の友」への参加を重ねてお願い致します。

梅澤将明様プロフィール

1950年11月27日生まれ(射手座)

坂戸防災株式会社 代表取締役

《川越工業高等学校・東洋大学卒》

(社)埼玉県消防設備協会副会長

埼玉県消防設備商工組合副理事長

埼玉消防設備等点検済表示管理委員会委員

埼玉県道路使用適正化協会西入間副支部長

NPO関東油濁防除研究会理事長

平成15年～17年総務省消防庁消火器・防災

物品リサイクル委員会委員

川越法人会坂戸地区会理事

川越税務署国税モニター

坂戸市ゴルフ協会理事

(社)坂戸青年会議所1988年度理事長

(社)日本青年会議所埼玉ブロック協議会1990

年度監事

航空自衛隊入間防衛モニター

陸上自衛隊東方オピニオンリーダー

坂戸さつきRC1991～92年度創立会員

坂戸さつきRC1995～96年度幹事

坂戸さつきRC2000～01年度会長

第2570地区2001～02年度ロータリー

財団GSE委員

第2570地区2002～03年度ロータリー

財団推進・ポリオ委員長

第2570地区2003～05年度ロータリー

財団推進・補助金委員長

第2570地区2005～07年度ロータリー

財団部門委員長

PETS(会長エレクト研修セミナー)サブリーダー 4回

地区協議会 R財団部門サブリーダー 3回

地区協議会 R財団部門リーダー 2回

R財団地区セミナー サブリーダー 6回

R財団地区セミナー リーダー 2回

第2570地区国際親善奨学生選考試験官4回

第2570地区2002～03年度ロータリー

財団地区奉仕賞

第2570地区2005～06年度地区奉仕賞

※卓話歴は2570地区において40回以上。

「ロータリー財団の変更について」

国際ロータリー第2570地区

ロータリー財団部門委員長 梅澤將明 様



1. 「ロータリー財団の使命」の変更

ロータリー財団の使命は、2000年2月の管理委員会決定により、「地域的レベル、全国的レベル、国際的レベルの、人道的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする、国際ロータリーの努力を支援することである。」と変更をされました。この変更によって、国際奉仕を掲げるロータリー財団にとって、地域的レベル、全国的レベルの活動が加わることによって、ロータリー財団の活動基盤と、範囲がさらに広がりました。

①「地域社会援助プログラム(CAP)」のスタート(試験的プログラム)

2000年4月の管理委員会の決定により、地区内または国内のプロジェクトに対して補助金を授与するプログラムが決定されました。国際奉仕でなくても、社会奉仕にも地区活動資金(DDF)が使う道が開かれました。小規模とは言え、国際性を強調してきたロータリー財団の大きな転換期となったことを意味しています。2001年1月からスタートし、2002年12月31日にCAPとしては終了しました。

②地区補助金の誕生

2003-04年7月からCAPが変わって「地区補助金プログラム」がスタートしました。地区補助金は、地域社会や国際社会での短期的な奉仕活動や、人道的なプロジェクトを支援するために、地区が利用する事のできるものです。基本的に金銭を授与することは出来ず、物質的な援助に対して授与の対象となります。

補助金受領の条件

- (1) ロータリアンの直接関与を条件としています。
- (2) 地区補助金の支給は、1クラブ1000ドル以上2000ドル以内。
- (3) 地区補助金の支給額は、プロジェクトの総額の50%以内とする。(総事業費=地区補助金50%+クラブ負担額50%以上)。

2. 地区財団委員長の任期

2003-04年度から地区財団委員長の任期は3年と定められました。(2002年10月管理委員会決定、推奨事項)

また、2003年7月1日よりDDF(地区活動資金)の用途を決定するために、署名をするのは地区財団委員長一人だけになりました。また2007-08年度からは3年任期が義務化されました。

3. シェア・システムの変更

従来、年次寄付のシェアがDDF(地区財団活動資金)60%:WF(国際財団活動資金)が40%であった比率が、2003-04年度からは、その支給年度である2006-07年度からDDF50%:WF50%になりました。

(※『人道的支援事業』への流れを受けて、国際活動資金が欠乏してきた。)

4. 年次寄付の目標について

- ①2004-05年度から年次寄付の目標を設定するようになりました。PETSの前に各クラブに用紙を送り、PETS当日会長エレクトが提出します。

Every Rotarian, Every Year『毎年あなたも100ドルを』『すべてのロータリアンが、毎年ロータリー財団に協力する=《全員参加》』と言う事を推進して行く事が基本となって、クラブレベルから始めてくださいと言うカルロ・ラビツア2004-05年度管理委員長からのメッセージです。2001年(決議01-276)と2004年(決議04-157)の規定審議会の決定により、毎年一人当たり100ドルの寄付を達成する事が採択されています。真意は多額の寄付をする人もいて、少ない人もいて、平均100ドルではなくて、一人一人に何らかの財団寄付をお願いすることなのです。この100ドル達成の手段が『財団の友』なのです。ポール・ハリス準フェローですと、1000ドルになると目標達成で終わりですが、財団の友には終わりはありません。毎年100ドルずつ寄付していただくものです。

5. 寄付の認証

- ①「100%財団の友クラブ」

ポール・ハリス・フェロー及び準フェロー制度がスタートしたのは1957年ですが、財団では1999年2月の管理委員会の決定で、準フェロー・プログラムを再定義しました。その時にこのPaul Harris Sustaining Memberの名称がRotary Foundation Sustaining Memberと変わりました。従来とは異なり、1000ドルに達した後も寄付を続けると定義されましたので、ロータリー財団準フェローではなく「財団の友」と改訳しました。「財団の友」は米貨100ドル以上を寄付し、以後年次寄付へ、毎年100ドル以上をまた会員にならなくても、年数に制限なく寄付を続け、1000ドルに達するとポー

ル・ハリス・フェローになることが出来ます。そしてクラブ会員全員が100ドル以上を寄付すると、「100%財団の友クラブ」として2003-04年度から認証されるようになりました。

② EREYクラブ

クラブ会員の一人当たりの寄付が100ドル以上であり。なおかつクラブ全員が1ドル以上寄付しているクラブ。2005-06年度から認証。

③ 100%ポール・ハリス・クラブ

1997年度から始まり、現在のクラブ全会員がポール・ハリス・フェローになっているクラブが認証されます。クラブとしては生涯一度きりの認証です。そして、世界本部の碑にクラブ名が刻まれ恒久的に展示されます。

④ ポール・ハリス・ソサィテイ

ロータリー財団に毎年1,000ドル以上の年次寄付と使途指定寄付をする人がポール・ハリス・ソサィテイの会員資格を有します。1998~99年度に米国の第5340地区でスタートしたものです。年次寄付と使途指定寄付の合計で、1,000ドル以上の寄付ですが、恒久基金寄付は含まれません。が、日本でも2006~07年度から公式なロータリー財団プログラムとしてスタートしました。

6. 年次寄付の認証

1. 一人当たりの寄付上位3クラブ・・・一人当たり50ドル以上
2. 年次寄付総額3クラブ・・・廃止
3. 100%財団の友クラブ・・・継続
4. EREYクラブ・・・2005-06年度から発足

7. 寄付記録

各クラブの寄付記録のCRS(クラブ寄付認証概要)の用紙が2004-05年度から変更になっています。今までは地区のガバナー事務所、地区財団委員長、年次寄付委員長、各クラブの会長・幹事さんがビジネス・ポータルから見る事ができましたが、2006年7月から各クラブの事務局員もアクセスできる様になりました。

8. プログラムの集約(簡素化)

2002年の管理委員会決定によってロータリー財団のプログラムは次の3つと定められました。

(1) 「教育的プログラム」

国際親善奨学生、世界平和奨学生、研究グループ交換等

- (2) 「人道的補助金プログラム」
3-H補助金、地区補助金、マッチング・グラント、ボランティア補助金
- (3) ポリオ・プラス・プログラム



梅澤様と渋谷会長

【ニコニコボックス】 塚越 茂 委員長

(順不同・敬省略)

石川嘉彦ガバナーエレクト
お世話になります。

梅澤将明ロータリー財団部門委員長
本日の卓話よろしくお願ひ致します。

石川嘉彦ガバナーノミニ、ロータリー財団部門委員長梅澤将明様卓話を宜しくお願ひします。

(同文にてご投入頂きました)

渋谷修身 武井包光 佐藤賀則 橋本恒男
野澤章夫 岩本英人 野村正行 岡崎正六
田中 克 岩淵富男 塚越 茂 岡芹正美
三宅健吉 矢島淳一 金子 章 立石秀寿
高柳育行 中村 孝

春山茂之
内孫が生まれました。

南 正
春山先生お孫さん生まれておめでとう御座います。

斉藤清一
今週の土曜日11月11日に本庄文化会館に於いて埼玉北部ヤクルト主催の「心のかようコミュニケーション」というテーマの講演会を予定しています。入場料無料ですので、よろしくお願ひします。

藤井 仁
楽市の協賛をおねがひします。

ガバナーエレクト石川様ようこそいらっしゃいました。

(同文にてご投入頂きました)

岡崎正六 野村正行

加藤玄静

石川ガバナーノミニー、梅澤部門委員長のご来訪をお喜び申し上げます。

本日投入金額合計 42,000円

春山茂之

ガバナーエレクト石川様ようこそ。本日はよろしく。

笠原 勝

11/6号かわら版『こだま』を30部持ってまいりました。読んで頂ければ幸いです。

戸谷 丈

本庄学生書展授賞式出席有難うございました。

戸谷清一

本庄まつり完全版を放送します。11/11(土)・12(日)の午前9時、午後3時、午後9時の3回です。

塚越 茂

Como esta Natalia?ナタリア・デ・カシアGシルバさん修学旅行はいかがでしたか?

〔出席報告〕

浅香 匡 委員



会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
78名	9名	69名	40名	60.8%

メーキャップ数2枚



広聴広報委員会 岩本英人・笠原 勝・戸谷清一・岩堀 薫

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 ■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700号
 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
 TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
 Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
 ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>

